

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	消防車両等整備事業			事業番号	090-013
担当部署名	消防	局	警防	部	警防

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連 寄与するKPI	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	①危機対応力の強化		
		無	無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連 寄与するKPI	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
			有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進		
		無	無	指標名	—		

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 ー 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	消防組織法、消防力の整備指針、堺市消防機械器具管理整備規程		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	対象施設：消防施設整備 対象数：車両220台（非緊急車両含む）、消防艇 1 艇、小型動力ポンプ41台				対象数	単位
						262	台
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	消防車両等の計画的な更新等により、消防力の充実及び強化を図る。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	経過年数、走行距離及び災害対応能力の強化の必要性を勘案し、更新及び増強対象となる消防車両等を抽出。庁内委員会に諮り更新及び増強車両を決定する。 【令和5年度実績】 はしご付消防自動車 1台 指揮車 1台 査察車 1台 救急自動車 4台 軽四連絡車 4台 小型動力ポンプ 3台					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	消防力の整備指針に基づく車両の整備 (消防車両配置台数)	台	目標値	91	92	92	92
			実績値	91	92		
達成率			100%	100%			
11	当該指標を選定した理由	消防力の充実及び強化を図る際に、消防力の整備指針に基づく車両の整備がひとつの指標となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	整備指針に基づく (大阪狭山市との消防事務委託に伴い消防車両が増台したため、今後も整備指針に基づく車両台数を維持するもの。)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	消防車両等整備（更新及び増強台数）	台		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			目標値	9	14	12	
			実績値	9	14		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	消防力の充実及び強化を図る際に、消防車両等の整備数がひとつの指標となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各車両の更新時期を元に検討					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	消防車両等整備事業	事業番号	090-013
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	283,330	217,852	394,267	361,206	415,590
財源内訳	国支出金					
	府支出金	51,762	58,726	3,238	10,454	55,500
	市債	227,000	155,800	387,700	348,700	344,800
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	4,568	3,326	3,329	2,052	15,290
14	人件費（b）	16,400	16,400	16,200	16,200	16,200
15	年間経費（c）=（a）+（b）	299,730	234,252	410,467	377,406	431,790

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	R6				R5	R6		
16	自動車購入費	決算		351,013	1,413		決算			
		予算		395,101	12,201		予算			
	役務費・公課費	決算		630	630		決算			
		予算		713	713		予算			
	災害用備品購入費	決算		9,563	9		決算			
		予算		7,456	56		予算			
	自動車積載用消耗品費	決算		0	0		決算			
		予算		12,320	2,320		予算			
		決算					決算			
		予算					予算			
		決算					決算			
		予算					予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① 消防車両等整備数	台	8	14
② 上記①にかかる年間経費	千円	217,545	361,207
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	27,193,125	25,800,500
備考（算出についての説明等）		製作車両によって整備経費が異なるため、年度によって経費の増減がある。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	長期的な計画を策定していることにより、安定した更新につながっているため、今後も引き続き計画的に更新等を実施していく必要がある。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	消防は人員と消防車両等を活用して災害対応を行うため、老朽化した車両等を最新の車両等に更新することにより、機能強化が図られ、消防力の強化につながる。また、今後も事業を効果的に実施することにより、災害対応能力の強化が図られ、市民の生命、身体、財産を保護することができる。
----	---